

Project Name

市民の目で橋守れ「橋守」 サポーター養成事業

日頃利用している小さな橋は、本当に安全？

TEC.ECO再生機構は、環境について子どもたちに教える活動をしています。ある日、川の生き物調査という環境学習に参加した時、偶然橋の下を見ると鉄筋が露出しているのを発見しました。戦後の高度成長期に建設された橋は、50年を超えたものも多くなり、老朽化対策が課題になっています。15m以上の橋は行政が調査を進めていますが、小さな橋までは手が回らないのが現状です。そこで、他の橋はどうなっているか？という疑問から、市民が身近な橋に関心を持ち見守る「橋守」サポーターを養成してはどうか、と考えるようになりました。

産学官民、みんなで身近な橋を見守る

通勤・通学あるいは、散歩など、日頃何気なく通っている小さな橋の下はどうなっているのか興味はありませんか？「橋守」サポーター養成事業では、実際に橋の建設に携わってきたOB技術者が、わかりやすく説明しながら、橋と一緒に見て回る見学会を行っています。ヘルメットやジャンパーなどはもとより、バスも用意し、中学生から高齢者まで、一般市民の方が気軽に参加できる見学会です。こうした活動を通じて、産学官民が協働で身近な橋を見守る体制ができること、そしてそれが社会の“当たり前”になることを期待しています。



左から順に：橋守現場見学会／橋守サポーター成熟モデル／橋守サポーター概念図／2013年6月14日山陽新聞に掲載／2014年5月3日山陽新聞に掲載

Group Name

特定非営利活動法人TEC.ECO再生機構

退職した建設技術者が集まって作ったNPO法人です。“美しい自然と生活しやすい社会を再生する”を目標に、子どもたちに環境について指導するなどの活動を推進しています。

【お問合せ】Tel・・・086-441-7658 Fax・・・086-441-7659 E-mail・・・npotececo@gmail.com 担当者名・・・諏訪部正
Web・・・http://ww32.tiki.ne.jp/~tec-eco/



事業概要

事業の目的

戦後の高度成長期に建設された橋の老朽化対策が課題となっている現在、特に全体の状況把握のできていない15m未満の小規模な橋を、地域住民で点検することのできる「橋守」サポーターを育成する。

活動内容

H25年度は新庄村で「橋守」サポーター養成モデル事業を開催し、新聞やテレビにも取り上げられ好評でした。H26年度は笠岡工業高校で、高校生が行う橋の点検・調査を指導しています。

団体からのメッセージ

建設会社や役所を定年になった技術者はもとより、環境や社会技術で社会貢献をしたい人を募集します。

私たちが大切にしていること・・・焦らず、明るく、あきらめず、をモットーにみんなが楽しく活動できればと考えています。仲間で集まって、イベントの準備や子どもたちを教えていると、楽しいですよ。

この活動を通じて得たもの・・・偶然小さな橋の劣化を見つけたことから、ほっとけないね！と仲間で「橋守」サポーター養成事業活動に取り組むことになりました。活動を続けると新聞やテレビに取り上げられて、産学官民でどうにかしようという雰囲気が出てきたように思います。

